



NIMD

Ministry of the Environment

N ational

I nstitute for

M inamata

D isease

NIMD FORUM 2026

2026.12.11 fri・12 sat

公式確認70年目の水俣病のアーカイブズ :収集・整備・公開の方法論

会 場:



環境省

水俣病情報センター

〒867-0055熊本県水俣市明神町55-10

参加費: 無料

12.11 fri

10:00-12:00 基調講演
13:00-15:00 セッション1
15:30-17:30 セッション2

12.12 sat

9:30-12:00 セッション3
13:00-16:00 セッション4
16:00-17:00 総合討論

※開始及び終了時刻は変更になる場合がございます。



基調講演

民衆史を記録し残す

一色川大吉資料の保存と活用

上野 千鶴子

(社会学者・東京大学名誉教授・WAN理事長)

水俣病を伝える展覧会や講演会を全国各地で開催している「水俣フォーラム」の会員として、複数回にわたってシンポジウム等で講演。また不知火総合調査団団長だった色川大吉さんの相続権者として、水俣調査資料の音声テープやメモ、写真類を水俣市立水俣病資料館に寄贈、また色川大吉さんの著書『“元祖”が語る自分史のすべて』(河出書房、2014年)では、「自分史とは何か」の聞き手を務めた。



M D A

環境省

水俣病情報センター

M inamata
D isease
A rchives

丸島港

梅戸港

水俣湾

至鹿児島

チッソ
水俣工場

百間排水口

水俣駅

水俣市役所

国保水俣市立
総合医療センター

肥薩おれんじ鉄道

水俣病情報センター
(水俣エコパーク内)

駐車場は、エコパーク内
「潮騒の広場」駐車場をご利用下さい

とんとん峠

もやい館

至芦北

問い合わせ先

環境省国立水俣病総合研究センター TEL:0966-63-3111

セッション 1

拾い集める声、姿

座長

村本 邦子 | 立命館大学 |



「証言から女性の歴史を紡ぐ」

松本 周子 | 水俣市女性相談支援員 |



「当事者が当事者に聴くということ」

杉本 肇 | 水俣病語り部の会 |



「ジャーナリズムとアート、被写体の尊厳」

アイリーン・美緒子・スミス | アイリーン・アーカイブ |

セッション 2

水俣の展示 一観せる、魅せる

座長

原田 利恵 | 国立水俣病総合研究センター |



「フィールドワークを展示する
ー水俣病を伝える活動の意義と課題」

平井 京之介 | 国立民俗学博物館 |



「水俣をアートとして展示する」

楠本 智郎 | つなぎ美術館 |



「プロセスを展示する
ー水俣病アーカイブズと複数の旅の経路」

香室 結美 | 熊本大学文書館 |

セッション 3

水俣病の医学・保健研究と アーカイブズ

座長

廣川 和花 | 専修大学 |



「メチル水銀の胎児期曝露影響」

坂本 峰至 | 国立水俣病総合研究センター |



「水俣病被害地域における異常妊娠の研究」

板井 八重子 | くわみず病院 |



「慢性期水俣病患者の病型別ADLの経年変化解析」

竇来 佐和子 | 国立水俣病総合研究センター |

セッション 4

資料を開く、活かす

座長

林 美帆 | 岡山理科大学 |



「水俣に所在する国立アーカイブズの意義と役割」

原田 利恵 | 国立水俣病総合研究センター |



「研究・教育・メディアにおける相思社資料の活用」

小泉 初恵 | 水俣病センター相思社 |



「揺れる水俣のなかでアーカイブする意味の再考」

井上 ゆかり | 熊本学園大学 |



「チッソ関連資料と科学技術と企業倫理」

矢作 正 | 「技術と社会」資料館 |